育英会だより

発行所
財団法人 漁船海難遺児育英会
〒101-0047 東京都千代田区
内神田2丁目2番5号
光正ビル6階
電話 03（3256）1981
FAX 03（3256）1982
E-mail:mizuiro.ikuei@eos.ocn.ne.jp
水色の羽根募金運動

北見恭子さん 今年も「ひな祭りライブ」で寄付

～文集朗読に会場から励ましの拍手～

北見恭子さんの『ひな祭りライブvol.7』が三月一日（水）、東京・有楽町の読売ホールで開催されました。今年のテーマは「今日までそして明日から…」、歌手生活三十数年を背景に最新ヒット曲「おんなの春」をはじめ二十数曲を熱唱し、ファンを魅了しました。

ライブ後半には北見さんから、収益金の一部と会場で集まった募金の目録が本会眞崎克實専務に手渡されました。このご厚意に対して眞崎専務は感謝状を贈るとともに、「海難遺児の励ましをライフワークとしている北見さんは心強いサポーター。北見さんやファンの方々の発信してきた励ましの心が、遺児・遺族に大きな勇気を与えて下さっています」と鈴木俊一理事長のお礼の言葉を代読しました。

この後、北見さんが出版間もない漁船海難遺児と母の文集『メール　空まで届いてほしい』を取り出し、「父さん　遅ればせながら、携帯電話持ちました　知らせたい事、相談したい事山ほどあります　メール　空まで届いてほしい…」（徳島県　福田美千子さんの作品）と一文を朗読すると、会場は励ましの気持ちを込めた万雷の拍手に包まれました。

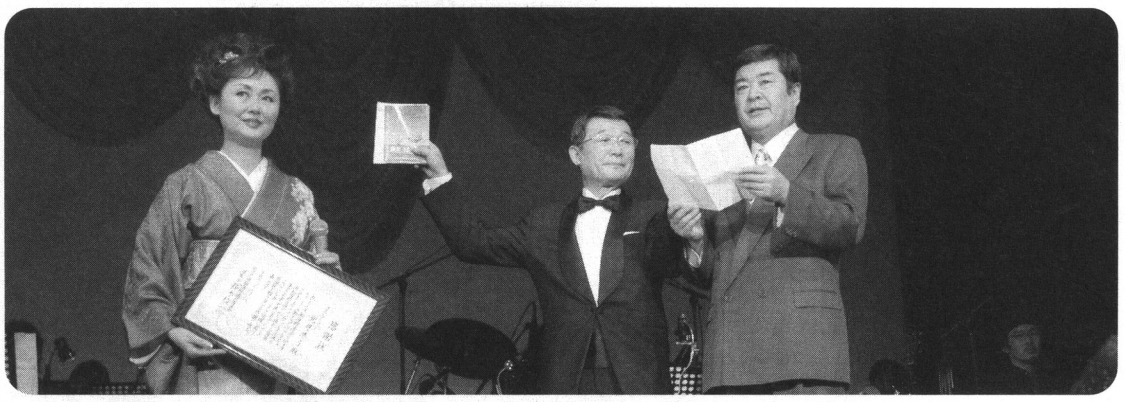
北見さんをはじめとする関係者の皆様、ご協力くださいました皆様に心より感謝申し上げます。

◎**北見恭子**（きたみ　きょうこ）

山形県出身。地元山形放送「ミス民謡コンクール」で優勝し、昭和四十八年にコロムビアレコードよりデビュー。昭和五十四年から海難遺児を励ますチャリティー活動をライフワークとして続けられており、昭和六十年に水産庁長官賞、平成十年には農林水産大臣より感謝状を授与されています。

なお、昨年十一月にリリースした新曲「おんなの春」が好評発売中。

▲ 心を込めて詩を朗読される北見さん


▲ 北見さんとファンの皆様に感謝の言葉を述べる眞崎専務

三十一年目の船出にあたり

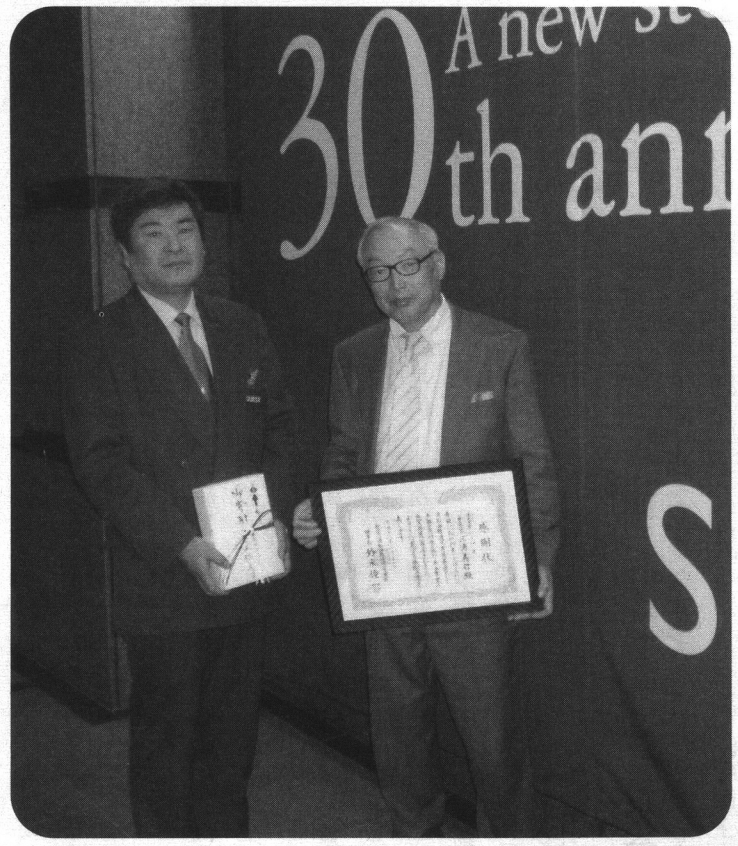
育英資金を寄付

服飾メーカー〝シップス〟

ファッション衣料と関連商品の企画、製作、販売を行う㈱シップス（SHIPS LTD・三浦義哲代表取締役社長）から、設立三十周年を記念して本会に多額の育英資金が寄せられました。

平成十七年九月に設立三十周年を迎えたシップスの三浦社長の船に対する思い入れは、社名が示すとおり非常に深いものがあります。大分県の海辺で育った三浦氏は曾祖父が持ち船で交易を営み、祖父は海軍軍人という家系。「船には新しい事への挑戦、未知のものへの憧れというイメージがあります」と語る三浦氏は、三十周年記念パーティーを〝ふじ丸〟（二三，二三五t、外航クルーズ客船）船上で開かれました。その折りに寄せられた会費等を海に関係する事で役立てたいと東京海洋大学に問い合わせて、今回の寄付が決まったそうです。

二月二十七日（月）、シップス本社で寄付金を受け取った眞崎専務は、「水産関係以外からいただく寄付は希なので正直驚きましたが、同時に非常に感激し感謝申し上げます」とお礼を述べた。順調に航海を続け、多くの港（店）、多くの船（仲間）をつくり、引き続き三十一年目の航海を始めたところとする「シップス丸」のますますの発展をお祈りいたします。



▲ 設立30周年記念旗の前で感謝状を手にする三浦義哲社長（右）

組合学校卒業生が寄付

去る二月二十八日（火）、全国漁業協同組合学校（千葉県柏市、植村正治校長）の平成十七年度卒業生の皆様から育英資金が寄付されました。

当日は、第六十六期生一七名を代表して小野寺和也さん・椎野雄介さんの二名が来会し、本会眞崎専務に寄付金が手渡されました。それぞれ北海道と東京（島嶼部）のJF（漁協）に就職が内定したお二人は、「一日も早く仕事に慣れて頑張りたい」と抱負を述べるとともに、「育英資金の寄付は先輩から代々引き継がれた伝統行事。少しでも遺児達の助けになれば」と話した。これに対し自身も同校卒業生である眞崎専務は、「卒業を伴にされる生徒達から毎年欠かすことなく寄付をいただき、勉学に励む遺児達にとって大変心強く励みになることと思う。水産は大変な時期ですが、お二人も四月からはJFグループの一員として、活気ある漁村を取り戻すため頑張って下さい」と述べて感謝状を贈った。

▲ 第66期生代表の小野寺さん（中央）と椎野さん（右）

再生紙使用

ご卒業・ご進学・ご進級 おめでとうございます!

提出書類一覧

対象者＼提出書類		在学証明書	進路報告書	願書 付属書類	借用証書	住所職業届 入(在)学届	連帯保証人 職業届
平成十七年三月	中学校卒業者	☆（高校等給与希望）	○	☆（高校等貸与希望）			
	高校等卒業者（給与のみ受領）		○	☆（大学等貸与希望）			
	高校等卒業者（給与・貸与受領）		○	☆（大学等貸与希望）	○	※注 ○（どちらか1枚提出）	○
	大学等卒業者		○		○	○（どちらか1枚提出）	○
平成十八年四月	小学校1年生	○					
	中学校1年生	○					
	高校等2年生以上	○					
	大学等2年生以上	○					

○＝対象者全員提出　☆＝希望者のみ提出

注：平成17年度高校等卒業者で、4月に大学等奨学生の出願をされる方は入学（在）届の提出は不要です。

～新年度の諸手続について～

新年度を迎え、社会へと巣立たれた皆さん、また、進学・進級された皆さんそれぞれに新しいスタートをきられたことと思います。本会におきましても、平成18年5月25日（木）の第1回送金に向けて、職員一丸となり様々な準備を進めているところです。ついては、これに伴い、奨学生の皆さんにも進路に応じた手続きを早急に行っていただきますようお願いいたします。既に対象となる方々には、文書にてご案内いたしておりますが、再度左記の表にて書類を確認の上、**4月25日（火）**までに必ず本会へ提出してください。

◎よくあるご質問

Q．高校を退（休）学しましたがどうしたらよいですか？

A．退（休）学届を提出していただく必要があります。また、在学されていなかった期間に受領した学資給与金は返金していただかなくてはなりませんのでご連絡ください。

Q．海外の大学へ進（留）学しますが、奨学金は受けられますか？

A．残念ながら日本国内の大学・専門学校以外は認められません。

Q．短大を卒業しましたが、4月から大学へ編入します。引き続き、奨学金を受けられますか？

A．在学証明書を添付し、延長願いを提出してください。なお、病気等で留年となり延長を希望される場合は診断書の提出が必要です。

※この他、住所等変更事項がありましたら、まずは、お近くの漁連・漁協、または本会に直接ご相談ください。所定の書類をお送りします。

漁船海難遺児と母の文集を読んで

＊この度は「漁船海難遺児と母の文集」をお送り頂き有り難く、家族や孫達にも回覧して読ませるべく存じます。私が海上勤務していた頃から三十年も経つ今の時代にも、時折、漁船遭難のニュースを見る度に、そのご遺族の皆さんのお悲しみをお察しして心が痛みます。何卒、貴会皆々様一層のご活躍をお願い致す次第であります。

（東京都　樋田徹也）

＊「漁船海難遺児と母の文集」を送って下さいまして有難うございました。

全文を読み通して胸が痛みました。お父さんの分までお母さんが努力なさって生活をささえ、お子さんに愛ときびしさを教え育てた御苦労に頭が下がります。私の世代は戦争で夫を亡くした方がどれだけ多くいたことでしょう。数人（これは友人のこと…）は、やはり女手一つで養育して、今は成人のお子さんとお暮らしです。皆様のこれからの人生に幸のありますことを祈っております。

（神奈川県　三輪和子）

＊遺児と母の文集「メール　空まで届いてほしい」を送って頂き、ありがとうございます。年々、漁船海難事故は減少しているとは言え、毎年事故は発生し、犠牲者が出ています。これ以上、事故と遺児が生まれないことを念じています。今後とも、遺児の皆さんのために頑張ってください。

（福岡県　三輪千年）

奨学生からのお便り

＊送金ありがとうございます。就職にむけて頑張ります。

（北海道　大四　川村智恵子）

＊三月で卒業します。本当に長い間ありがとうございました。

（山口県　大院卒　川口昌和）

＊長い間ありがとうございます。三月、娘も専門学校を卒業します。早いもので今年主人の十三回忌です。

（東京都　西﨑弘美）

＊娘が奨学金が届くのを心待ちにしております。今日、入金があったと喜んでメールしてきてくれました。ありがとうございます。

（石川県　櫻井三重子）

＊お陰様で、三月で娘も卒業する事が出来ました。長い間有難うございました。

（福岡県　中西良枝）

＊この春、息子も高校を卒業し、他県の専門学校へと進学することになりました。それと同時に在籍した高校も閉校となります。淋しい気持ちと嬉しい気持ちの入り混じった門出となりました。色々な事もあると思いますが、一生懸命頑張って欲しいです。長い間、本当にありがとうございました。

（鹿児島県　上村えつ子）

＊沖縄は寒くなったり暑くなったり、季節の変化がおかしいです。娘も高校入学してはや一年がたち、月日の早さを感じます。部活、勉強、友達との遊び等、家族で一番いそがしそうです。たまにごはんを食べながら、いねむりしている時もあり笑ってしまいます。ありがとうございました。

（沖縄県　宜保初美）

寄付者からのお便り

＊ようやく暖かくなり、花の季節になりました。子供達も別れ、出逢いの頃ですね。皆様の健康と幸せを心より祈っております。

（千葉県　福田昌佳）

平成十七年度 第四回選考委員会

去る一月二十七日（金）、『平成十七年度第四回奨学生選考委員会』が開催され、「第四回奨学生出願者（一月十五日締切り）の選考」について審議されました。この結果、新たに幼稚園・小中高等学校在学の学資給与奨学生八名の採用が決定しました。

なお、平成十六年度からの継続奨学生と併せて、新規奨学生を加えた三月十五日現在の奨学生数は、別表「都道府県別奨学生数」のとおりです。

平成十七年度 第三回理事会・評議員会

三月二十二日（水）、『平成十七年度第三回理事会及び評議員会』が開催され、平成十八年度事業計画及び収支予算案が承認されました。計画では、学資給与事業並びに奨学金貸与事業について前年と同額を支給することとし、「漁船海難遺児を励ます全国協議会」・「同地方協議会」等の協力を得て引き続き募金運動を強力に推進することとしております。また、眞

退任のご挨拶

前専務理事　**眞崎克實**

平成十六年十二月に就任し、僅か一年数ヶ月でございましたが、役職員の皆様に支えられ、無事に退任できましたこと、心より感謝申し上げます。

この間、ご寄付及び募金をいただいた、多くの皆様には、感謝の気持ちで一杯です。

遺児の数が、一頃より大幅に減少しているとは言え、現在も実質三九〇余名の遺児が、この事業を必要としています。

二月の漁船保険月報によると、全国の海難船舶件数及び、死者・行方不明者数は、何れも前年比を大幅に減少していますが、業種別で見た漁船海難での死亡・行方不明者数は六七名となっており、前年比九人増の数字を見ますと、漁業従事者の高齢化が進んでいると実感いたします。

漁業を取り巻く環境は、益々厳しい状況にありますが、全国の沢山の人達から、遺児と遺族の皆さんに励ましの応援を頂いております。

奨学生の皆さんは、勉学に励み、そして、夢と希望を持って、学舎を巣立たれることを、此の事業を支えてくれている、多くの人達と共に願っています。

就任挨拶

専務理事　**佐藤信三**

この度、四月一日付で㈶漁船海難遺児育英会の専務理事に就任することになりました。

最近の漁業を取り巻く環境は魚価低迷、漁獲不振、漁業就業者数の減少・高齢化のほか、前年からの燃油高騰、大型クラゲの襲来と非常に厳しい状況が続いております。

このような中、大型クラゲ・燃油高騰対策としての基金の造成等様々な施策が講じられているところでありますが、浜では誠に残念なことに未だ無理な操業等による漁船の海難事故が後を絶ちません。

今後とも救命胴衣の着用を呼びかける等、漁船の海難防止に努めていかなければならないと思っております。

近年、当育英会の奨学生数は減少傾向にあるようですが、三月末現在四〇〇名弱もの奨学生が当育英会の諸制度を利用されております。当育英会が昭和四十五年に設立して以来、諸先輩方が長年築いてこられた育英事業は大変意義のある事業と改めてその重要性を感じているところであります。

微力ではございますが、当育英会の安定的な事業運営と事業内容の一層の充実に努めて参る所存でございますので皆様方のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

崎克實専務理事の辞任（三月三十一日付）に伴い、後任に佐藤信三氏（ＪＦ全漁連広報室部長役）を選任しました。就任は四月一日。

育英基金『募金・ご寄付』のお礼

平成十七年十二月から平成十八年二月までにご寄付をいただいた方々のご芳名を掲げ、厚くお礼申し上げます。

※ご芳名（敬称略）

一、漁協系統募金（各都道府県の漁連、信漁連等で構成する「漁船海難遺児を励ます地方協議会（略称・地方協）」等で取り扱った分で、一般寄付を含みます。）

〔十二月〕◎**岩手県**▽佐々木昭夫―香典返し▽佐藤和子―香典返し▽牧原利雄◎**宮城県**▽塩竈市米消費拡大推進協議会会長前木昭次▽地方協◎**茨城県**▽地方協◎**千葉県**▽臼井重治▽南部漁港協議会◎**静岡県**▽戸田漁業協同組合女性部▽焼津釣舟部会▽地方協◎**京都府**▽奥利春―香典返し▽藤井多津江▽海洋高等学校生徒会―学校祭チャリティーバザーの収益金及び募金◎**和歌山県**▽地方協◎**広島県**▽漁業共済組合▽漁船保険組合▽地方協◎**山口県**▽地方協◎**徳島県**▽水産会館役職員御一同◎**香川県**▽観音寺水産振興協会▽水産会館互助会▽㈶水産振興基金▽㈳水産振興協会▽漁業共済組合▽漁業信用基金協会▽漁船保険組合▽多度津町産業課▽農政水産部水産課▽丸亀市産業部農林水産課▽地方協◎**福岡県**▽地方協◎**佐賀県有明海**▽地方協◎**長崎県**▽㈱アド長崎新聞▽有川町漁協女性部▽犬束重義▽沖田〆一▽柏木陸一郎―香典返し▽漁港漁村課▽漁業信用基金協会▽漁船保険組合▽水産振興課▽ＪＦ共水連大分県事務所▽渡辺玄士▽地方協◎**沖縄県**▽㈳沖縄県漁港協会▽沖縄県近海鮪漁業協同組合▽漁業共済組合▽水産諸団体▽ＪＦ共水連沖縄支店▽地方協

〔二月〕◎**北海道**▽渡邊靜次―入院見舞い返し▽第四十四回マリンバンク推進委員全道大会演芸会有志御一同◎**青森県**▽青森県豊かな海づくり大会実行委員会◎**宮城県**▽畠山登亀洋▽地方協◎**福島県**▽鳥羽一郎後援会福島支部◎**神奈川県**▽地方協◎**富山県**▽縄井恒晴▽地方協◎**静岡県**▽ＪＦ共済榛原地区推進協議会◎**愛知県**▽地方協◎**福井県**▽地方協◎**京都府**▽後藤陳之―農林水産大臣感謝状を記念して◎**兵庫県**▽㈲竜宝漁業黒田庸太郎◎**山口県**▽後藤京子◎**福岡県**▽地方協◎**長崎県**▽漁連職員ＯＢなぎさ会▽馬場元朝―香典返し▽友永浩明―香典返し◎**大分県**▽㈳大分県建設業協会佐伯支部▽大山水産山田久松▽㈲博勝水産　首藤勝▽大成建設㈱代表取締役河野幸次▽伯洋海運㈱代表取締役山本孝太郎▽藤谷新一―旭日小綬章受章記念

二、一般寄付

〔十二月〕◎**北海道**▽厚岸水産高等学校▽海洋土木㈱札幌支店▽海鷹水産㈱▽北冷蔵㈱▽日東水産㈱▽古平町水産加工業協同組合代表理事組合長山田昭三▽丸銀漁業㈱◎**青森県**▽大山チセ▽鮫カラオケ愛好会▽八戸海上保安部▽八戸水産高等学校▽㈱弘前丸魚代表取締役小野堅治▽マルヨ水産㈱◎**岩手県**▽㈲大井漁業部▽金沢漁業㈱代表取締役金澤俊明▽鈴木秀子―香典返し▽丸仙水産㈱▽宮古水産高等学校◎**宮城県**▽女川町水産まつり実行委員会▽女川魚市場買受人協同組合▽おながわ秋刀魚収穫祭実行委員会▽㈱鈴木漁業▽㈱仙台水産代表取締役社長中島健也▽第二管区情報通信管理センター◎**秋田県**▽㈱花輪魚市場◎**山形県**▽加茂水産高等学校▽酒田海上保安部▽善寶寺龍王講◎**埼玉県**▽小野沢通▽高岡良治―香典返し▽冨元克昌◎**茨城県**▽㈱共冷物流サービスセンター◎**群馬県**▽㈱群馬県水産魚市場役職員御一同◎**千葉県**▽安房水産高等学校▽飯村久子▽㈶海洋生物環境研究所中央研究所所長片山洋一▽柏魚市場㈱▽片山正宜▽勝浦若潮高等学校▽全国漁業協同組合学校▽㈱全漁連フーズ▽船橋水産㈱◎**東京都**▽㈱いわし食用化協会▽㈶温水養魚開発協会▽㈳海外まき網漁業協会▽海洋土木㈱▽㈱協同セミナー▽共同船舶㈱▽㈱極洋▽㈶魚価安定基金▽漁業者国民年金基金▽㈳漁業情報サービスセンター▽㈳漁業信用基金中央会▽㈶漁港漁場漁村技術研究所▽㈶漁場油濁被害救済基金▽漁船保険中央会▽佐野宏哉▽篠田典子（故人正司）―香典返し▽㈳ＪＦマリンバンク支援協会▽㈱水産総合研究センター・本部・同厚岸栽培漁業センター・同遠洋水産研究所・同古満目栽培漁業センター・同五島栽培漁業センター・同水産工学研究所・同志布志栽培漁業センター・同瀬戸内海区水産研究所・同玉野栽培漁業センター・同中央水産研究所・同中央水産研究所（高知）・同東北区水産研究所・同西海区水産研究所・同西海区水産研究所石垣支所・同能登島栽培漁業センター・同北海道区水

産研究所・同南伊豆栽培漁業センター・同宮古栽培漁業センター・同宮津栽培漁業センター・同屋島栽培漁業センター・同養殖研究所▽水産庁増殖推進部栽培養殖課、記者クラブ▽㈳水産土木建設技術センター理事長鹿田正一▽全国遠洋沖合漁業信用基金協会▽㈳全国沖合いかつり漁業協会▽全国共済水産業協同組合連合会▽全国漁業共済組合連合会▽全国漁港・漁村振興漁業協同組合連合会▽㈳全国近海かつお・まぐろ漁業協会▽㈳全国さんま漁業協会▽㈶全国真珠信用保証基金協会▽全国水産加工業協同組合連合会▽全国海苔貝類漁業協同組合連合会▽全国釣船業協同組合連合会▽㈳全国まき網漁業協会▽㈳全国遊漁船業協会▽㈳全国豊かな海づくり推進協会▽㈳大日本水産会▽髙山隆三▽㈱中央漁業公社▽㈶中央漁業操業安全協会▽東京北魚㈱▽㈶東京水産振興会▽中沢俊郎―香典返し▽ニチモウ㈱、役員・従業員御一同、㈱ニチモウマリカルチャー、ニチモウマリファーム㈱、㈱ニチモウワンマン、西日本ニチモウ㈱本社、西日本ニチモウ㈱清末工場、日網興産㈱、ニチモウクラフト㈲、㈱ソーエー▽㈶日韓・日中新協定対策漁業振興財団▽日本鰹鮪漁業協同組合連合会▽日本鰹鮪漁船保険組合▽㈳日本缶詰協会▽日本水産㈱役員従業員御一同▽㈳日本水産資源保護協会役職員御一同▽㈳日本水産物貿易協会▽㈳日本定置漁業協会▽㈳日本トロール底魚協会▽日本捕鯨協会▽日本鮪罐詰輸出水産業組合▽㈱日本丸▽農水産業協同組合貯金保険機構理事長東久雄・役職員御一同▽㈱農林漁業信用基金▽海苔増殖振興会▽㈳フィッシャリーナ協会▽吹原弘宣▽北部まき網漁業㈱▽㈳本州鮭鱒増殖振興会◎**神奈川県**▽横浜冷凍㈱◎**新潟県**▽新潟市魚商協同組合代表理事加藤康男▽山津水産㈱◎**富山県**▽池田水産㈱▽西島栄作▽氷見水産加工業協同組合▽松野均◎**石川県**▽能都北辰高等学校◎**静岡県**▽魚市静岡魚市㈱▽三和厨理工業㈱▽㈲清和▽沼津魚市場㈱▽福久漁業㈱▽焼津水産高等学校◎**福井県**▽小名浜水産高等学校▽福井缶詰㈱▽福井中央魚市㈱◎**岐阜県**▽土田隆夫◎**三重県**▽慶福丸三鬼楠好◎**京都府**▽中上清吾◎**大阪府**▽助六食品㈱▽㈱全漁連フーズ大阪営業所▽高階救命器具㈱◎**兵庫県**▽内橋昭三▽柴谷享一郎▽㈶日本船員厚生協会神戸大倉山海員会館館長橋口毅▽村瀬和夫▽大和漁業㈲代表取締役磯田和志◎**和歌山県**▽和歌山魚類㈱◎**鳥取県**▽浜野茂夫▽米子魚市場仲買協同組合◎**島根県**▽隠岐水産高等学校親交会▽浜田水産高等学校◎**岡山県**▽漁船保険組合▽吉田厚子◎**愛媛県**▽宇和島水産高等学校生徒会◎**高知県**▽大熊水産㈱▽杉本幸貞▽土佐魚類㈱◎**福岡県**▽池田正二▽伊藤商店▽北九州水産物小売団体協同組合代表理事前田義則▽九州大学農学部水産学科水産実験所教職員親睦会▽日本遠洋旋網漁業協同組合▽㈱福岡魚市場◎**長崎県**▽㈲柏木水産▽海興水産㈱代表取締役中村栄治▽北松魚市㈱取締役社長松山廣繁▽山田水産㈱◎**大分県**▽㈱佐伯魚市場◎**熊本県**▽地方卸売市場㈱玉名魚市場代表取締役社長渡辺利廣▽苓洋高等学校◎**宮崎県**▽㈲由丸水産代表取締役守山由孝◎**鹿児島県**▽冨元小松▽濵田俊一▽枕崎水産加工業協同組合▽龍生水産㈲

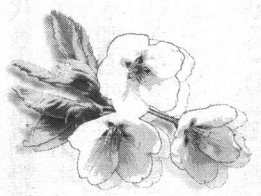
〔一月〕◎**北海道**▽小樽水産高等学校▽㈱さけ・ます資源管理センター根室支所▽北海道運輸局▽米倉水産㈱◎**岩手県**▽釜石海上保安部▽気仙沼海上保安署▽三陸海▽全日海岩手事務所▽全国海友婦人会（宮古支部・山田支部）◎**宮城県**▽石巻海上保安署▽東北運輸局◎**山形県**▽小関利昭◎**福島県**▽いわき親潮会◎**埼玉県**▽冨元克昌◎**茨城県**▽㈲石田丸漁業代表取締役石田洋一◎**千葉県**▽飯村久子▽エハラヒデユキ◎**東京都**▽㈱海と渚環境美化推進機構▽榎本みつ枝▽㈶海外漁業協力財団▽㈱海難防止協会▽㈶海洋生物環境研究所▽漁港漁場新技術研究会▽㈱全国漁協オンラインセンター▽全国漁業協同組合連合会役職員御一同▽高杉真人―異動に際し▽高野恵子▽農林中央金庫役職員御一同▽水産庁漁港漁場整備部計画課・同整備課・同防災漁村課、漁政部企画課・同漁政課・同漁政課船舶管理室・同加工流通課、漁業保険管理官、資源管理部沿岸沖合課同遠洋課・同国際課、増殖推進部研究指導課・同栽培養殖課▽㈱日本鰹節協会▽日本小型船舶検査機構▽農林漁業金融公庫◎**神奈川県**▽第三管区海上保安部警備救難部救難課▽㈶日本船員厚生協会横浜海員会館▽三崎水産高等学校◎**愛知県**▽鈴木基之▽中部運輸局◎**京都府**▽海洋高等学校校長福本清▽中上清吾◎**兵庫県**▽瀬戸内海漁業調整事務所◎**鳥取県**▽浜野茂夫◎**岡山県**▽ナカシマプロペラ㈱▽吉田厚子◎**山口県**▽㈶水産大学校▽宮内浩正◎**香川県**▽四国運輸局◎**福岡県**▽宗岡昌子▽北九州魚市場㈱◎**長崎県**▽長崎大学水産学部◎**宮崎県**▽山田水産㈱新潟営業所◎**静岡県**▽山本文子◎**愛知県**▽三谷水産高等学校ＰＴＡ◎**京都府**▽大京魚類㈱▽中上清吾◎**鳥取県**▽境港漁業調整事務所▽浜野茂夫◎**島根県**▽青山善一郎◎**岡山県**▽吉田厚子◎**広島県**▽崎山一孝▽中国運輸局◎**山口県**▽和田徹◎**高知県**▽山本光博◎**福岡県**▽九州漁業調整事務所◎**鹿児島県**▽冨元小松

都道府県別奨学生数

（平成18年3月15日現在）

都道府県名	給与奨学生					貸与奨学生			合計	平成17年度第4回採用者						合計
	幼児	小学生	中学生	高校生等	小計	高校生等	大学生等	小計		幼児	小学生	中学生	高校生等給与	高校生等貸与	大学生等	
北海道	2	27	18	22	69	1	9	10	79	1	4	1				6
青森	1	4	2	6	13		2	2	15							
岩手	2	3	4	7	16	2	5	7	23	1	1					2
宮城	3	5	7	9	24	1	3	4	28							
秋田				1	1				1							
山形		1			1		1	1	2							
福島		2	1	5	8				8							
茨城			1	1	2		1	1	3							
千葉	2	7	4	3	16		1	1	17							
東京		3	1	1	5		2	2	7							
神奈川																
新潟	2	1	1		4				4							
富山																
石川	1	1		2	4		1	1	5							
静岡		1	3	1	5				5							
愛知				3	3				3							
福井																
三重			1		1				1							
京都			1	1	2				2							
大阪		1	2		3		1	1	4							
兵庫		3	4	6	13		2	2	15							
和歌山			2	1	3				3							
鳥取	1	1	3	2	7		1	1	8							
島根		3	4	5	12	1		1	13							
岡山	1	1			2				2							
広島		1	1		2		1	1	3							
山口	1	4	3	7	15	1	3	4	19							
徳島			3	4	7		1	1	8							
香川		2	1	1	4		1	1	5							
愛媛		7	1	4	12	3		3	15							
高知		1	4	6	11		1	1	12							
福岡	1	3	1	1	6		2	2	8							
福岡県有明海																
佐賀県玄海																
佐賀県有明海		1	1		2				2							
長崎	2	3	6	8	19	2	4	6	25							
大分		3	1	4	8		4	4	12							
熊本		2	1	4	7				7							
宮崎	1	3	5	4	13	2		2	15							
鹿児島	1	4	3	8	16	1	1	2	18							
沖縄	1	4	4	3	12	1	2	3	15							
合計	22	102	94	130	348	15	49	64	412	2	5	1				8

※学資給与奨学生の高校生等には養護児を含む。
※奨学金貸与奨学生には入学一時金のみの奨学生を含む。
※平成１７年度第４回採用者は内数である。



事務局からのお知らせ

平成十八年四月一日より、本会は従来の二部制（総務部・業務部）を廃止し、事務局制に機構を改めました。役職員一同、気持ちを新たに励んで参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。なお、役職名等詳細は左記の通りです。

専務理事　佐藤　信三
事務局長　小林　哲朗
事務局次長　梶山　千草
総務担当　髙橋　清美
業務担当　田上　幸子
〃　三上　恵里

漁船海難遺児に愛の手を!!　水色の羽根募金